中学社会歴史　　近世の日本

享保の改革と社会の変化.1

年　　組　　番

名前　解答

解答

問1　徳川吉宗は米の価格の安定に苦心したため、何と呼ばれたか。（ 米将軍 ）

問2　徳川吉宗が行った政治改革を何というか。（ 享保の改革 ）

問3　徳川吉宗は、幕府の財政難に対応するために、武士に何を命じたか。（ 質素・倹約 ）

問4　大名が参勤交代で江戸に住む期間を1年から半年に短縮するかわりに、1万石につき100石の米を納めさせるようにした制度を何というか。（ 上げ米の制 ）

問5　徳川吉宗は、年貢を増やすためにどのようなことを行ったか。（ 新田開発 ）

問6　徳川吉宗によって制定され、裁判の基準となった法律は何か。（ 公事方御定書 ）

問7　徳川吉宗が民衆の意見を聞くために設置したものは何か。（ 目安箱 ）

問8　江戸の防災を強化するために、町人によって設けられた消防組織は何か。

（ 町火消し ）

問9　木綿、生糸、絹織物などの商品の国産化が進んだ理由は何か。

（ 正徳の治で長崎貿易が制限されることで、これらの商品の輸入量が大幅に低下したから ）

問10　18世紀ごろから、問屋が農民に織機やお金を前貸しして布を織らせ、製品を安く買い取るようになった。これを何というか。（ 問屋制家内工業 ）

問11　地主や商人が工場を建設し、人を雇って分業で製品を作らせることを何というか。

（ 工場制手工業（マニュファクチュア） ）

問12　農民の間に貨幣経済が広がると、土地を手放して、何になる者が増えたか。

（ 小作人 ）

問13　農民の間に貨幣経済が広がることで、農民の間の貧富の差はどうなったか。

（ 拡大した ）

問14　農民の間に貨幣経済が広がると、土地を買い集めて何になる者が現れたか。

（ 地主 ）

問15　農民が年貢の軽減などを求めて領主や代官に抵抗した行動を何というか。

（ 百姓一揆 ）

問16　米を買い占めた商人に対する反抗行動を何というか。（ 打ちこわし ）

※このプリントは右の【ポテスクプリント】にて無料でダウンロードできます。

Potaschool Print ポテスクプリント